

緊急消防援助隊情報

ヘリコプター動態管理システム

広域応援室

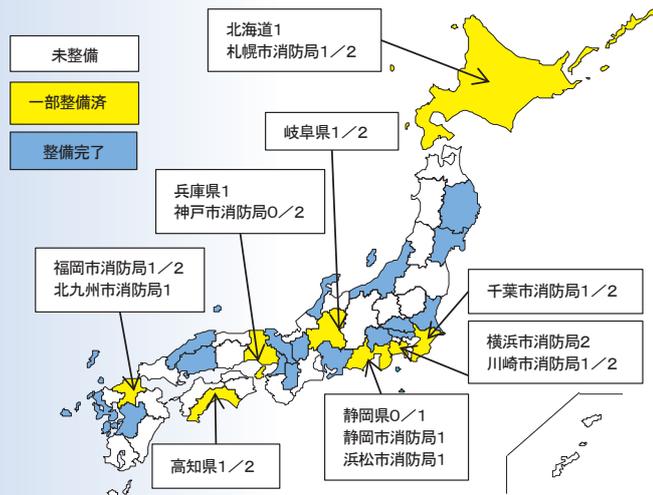
1. はじめに

消防防災ヘリコプター（以下「ヘリ」という。）は、平成27年4月1日現在55団体に76機が配備されています。

ヘリコプター動態管理システムは衛星通信を利用し、消防庁や各都道府県の災害対策本部、航空隊基地等に設置された地上端末において、リアルタイムでヘリの位置情報等を把握することが可能であり、ヘリの効果的な運用を支援します。

2. ヘリコプター動態管理システム配備状況

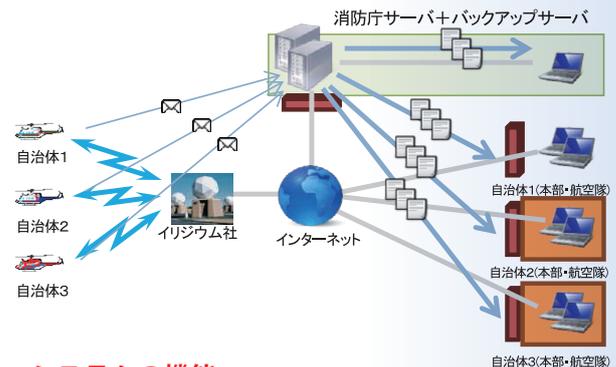
平成27年4月1日現在、消防庁サーバと互換性のあるヘリコプター動態管理システムは、32団体46機に配備されています。



3. システムの歴史

年度	概要
平成17年	消防庁ヘリ1号機（おおかた）に導入。
平成20年	消防庁-JAXAの間で「消防防災における航空機の利用に関する技術協力の推進に係る取決め」を締結し、消防防災における航空機の運航管理システムに係る技術協力を開始。
平成21年	消防庁において無償使用制度による配備を開始。
平成23年	東日本大震災発生。被災地の災害対策本部等において、多数のヘリの動態を把握し、最適に運航することが課題として浮き彫りになる。
平成26年	JAXAが研究開発を進めている災害救援航空機情報共有ネットワーク（D-NET）の技術が活用された集中管理型システム（サーバクライアント方式）の運用を開始（図参照）。
平成27年	離着陸場情報システムを統合・集約化。

図 集中管理型のイメージ



4. システムの機能

(1) ヘリコプター位置管理機能

機体シストで追尾した機体をチェックすると、選択した機体を中心に位置表示されます。

(2) メッセージ送受信機能

機体を選択してメッセージを送受信できます。

(3) 検索機能

住所や離着陸場など、検索方法を選択して地上情報を検索することが可能です。

(4) 軌跡画面表示機能

過去の飛行追跡を機体や期間を選択して表示できます。

(5) ルート送信機能

機体を選択して目的地を送信出来ます。

(6) 地点伝送機能

地点や線・画情報を送信できます。

(7) 整備期間表示機能

全国の消防防災航空隊に設置された表示端末により入力されたヘリの整備期間情報や運航情報を表示できます。

5. おわりに

消防防災ヘリコプターは、緊急消防援助隊に全76機が登録されており、消防庁ではヘリコプター動態管理システムが全55団体全76機に配備されることを目標としています。消防庁では、今後予想される南海トラフ地震や首都直下地震などの大規模災害の際には、今より効果的な運用ができるようこれからも無償使用制度により配備及びシステムの高度化等に取り組んでいきたいと考えています。

問合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室
TEL: 03-5253-7527 (直通)